



# 碧南ロータリークラブ週報

第2287回例会 平成17年10月12日(水)

- 会長 岡田 起勇 ● 幹事 亀山 裕一 ● SAA 長田 豊治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 杉浦昌裕・角谷信二・清澤聡之・岡本明弘

## 超私の奉仕

2005~2006年度  
国際ロータリーのテーマ



### ● 斉唱

ロータリーソング「我らの生業」

### ● 職業宣言の朗読

職業奉仕委員会 委員長 岡島淳一君

### ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

### ● 本日のお客様

安城RC 牟礼研吾君

米山奨学生 蔡 於今(サイ ヨキン)様



岡田起勇会長



杉浦健次会長以外 蔡 於今様

## 会長挨拶

9月にアメリカをおそったハリケーンにより大きな被害をうけました。碧南ロータリークラブも高橋ガバナーの要請により1人1,000円の見舞金を送りました。今度は、パキスタンで地震があり、現在、死者が22,000人になったと報じられました。皆様方もテレビ放映をご覧になり、大変な出来事があったと思ったでしょう。死者も推定で40,000人ぐらいになると予想されています。私たちの住んでいる碧南も東海沖地震が起きると大変な被害が予想されています。地震に対する心構えが必要ですが、具体的に何をするかというと大変難しい問題であります。

さて、10月はスポーツの秋、食欲の秋、1年で一番すしやすい季節であると思います。昔中国の前漢の時代に異民族が漢の国に対抗しようとしているのを見抜いた人がいて、こう予想しました。「秋になって馬が肥えるようになれば事変が起きる。」いわゆることわざにある「天高く馬肥える秋」という言葉の故事です。秋は異民族が侵入する季節であり、注意を促す意味だったのが「空高く澄み渡った秋」をいうようになった。それが、日本では、食欲の秋をたとえる意味になったそうです。

## 新入会員入会式



新入会員 杉田 茂君



杉田 茂君 岡田起勇会長

## 幹事報告

- ・碧南市友好親善協会より米国ハリケーン被害に対する義捐金の依頼がきています。当クラブとしては先回理事会報告で報告しました通り地区を通じて会員一人当たり千円の義捐金を災害義捐金予算から支出していますが、それとは別に友好親善協会の個人または法人会員として協力をお願いします。
- ・過日担当委員会より案内がありました様に來たる10/26、11/2の例会時にチャリティバザー用品の受付を行いますので適当な品物をご持参頂きます様に宜しくお願い致します。
- ・次回例会は職場例会で会場がアイシン精機新川工場に変わります。間違い無い様お願いします。
- ・地区大会が近づいてきました。登録申込みを頂いた方には後日再度ご案内を致しますが交通手段等変更があった場合には準備の都合がありますので幹事まで速やかに連絡をお願い致します。
- ・一昨年度大阪で開催されましたRI国際大会記録誌が届いています。回覧しますのでご覧下さい。
- ・去る9/24に開催されました万博ロータリー館運営委員会及びお別れパーティの報告を致します。ロータリー館の会期中の入場者は約2万人でこの内ロータリー会員は約1万人、外国ロータリアンは約500名でした。募金総額は3億2千万円余で全国34地区ある内の10地区は協力0円でした。運営委員会はこの日を以て解散となり、収支決算報告は12月か1月のガバナーズレターに掲載されるとの事です。入口に設置されていた各クラブ名の入った硝子のオブジェは終了後カットして各クラブに記念品として配布される予定でしたが、カットして作ると割高になるとの事で新規に制作、配布されるそうです。ロータリー館の保存活用の要望もありますが多大な費用が必要な為、解体撤去される見込みです。ロータリー館で配布されていたメイクアップカードは閉会后2週間を経過しましたのでもう使用できません。
- ・本日例会終了後201号室で理事会を開催致します。役員・理事、議案提案者の親睦活動委員長さんはお出席下さい。



亀山裕一幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 78 名 (内出席免除者 15 名) 出席者 64 名	
出席対象者 52 / 63 名	出席率 82.54%
欠席者 14 名 (病欠者 0 名)	前々回修正出席率 98.39%

### 〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 安城 R C 牟礼研吾君 メーカーシップでお世話になります。ご無沙汰しております。
- 山中 寛三君 先週は笑って中締めの方歳をやらせて貰い有り難うございました。
- 森田 英治君 本日新入会員杉田茂さんを紹介させていただきました。
- 長田 昌昇君 米山月間です。卓話の蔡さんをご紹介します。
- 竹下 豊君 娘が結婚します。
- 加藤 知彦君 10月5日小伴天にてIMの折、長田銑司さんより思いがけない私の作品のPRをいただき、ありがとうございました。
- 清澤 聡之君 インフォーマル・ミーティングには加藤良邦さん、黒田昌司さん、亀山裕一さん、平岩辰之さんに大変お世話になりました。
- 岡本 明弘君 10月8日・9日、今年も歩かせて頂きました。良い体験ができました。
- 榊原 健君 10月1日より商工会議所西で、子供がエンゼル歯科を開院致しました。地域の皆様に信頼される仕事をしてくれたらと思います。宜しくお願いします。
- 杉田 茂君 本日より入会致します。

## 〈親睦活動委員会〉

### 10月会員誕生日

3日 黒田 昌司君      5日 清澤 聡之君      9日 平岩統一郎君  
23日 新美 託巳君    29日 杉浦 勝典君    31日 石橋 嘉彦君

### 奥様誕生日

3日 山中寛紀君の奥様 恭 子様      10日 青木 稔君の奥様 由利子様  
12日 岡田起勇君の奥様 明 美様      18日 奥田雪雄君の奥様 万里子様  
19日 平松 太君の奥様 ふ き様      24日 森田英治君の奥様 明 美様  
31日 木村克美君の奥様 由利子様

### 結婚記念日

3日 杉浦勝典君・紀代子様40年      6日 鈴木昭洋君・悦 子様38年  
8日 長田昌昇君・勝 代様38年      14日 平松 太君・ふ き様35年  
18日 鈴木敏弘君・玲 子様40年      18日 深澤元喜君・早 苗様24年  
24日 鈴木並生君・まゆみ様34年      30日 植松敏樹君・圭 子様38年

### 入会記念日

4日 杉浦昌裕君

## 卓

## 話

### 「日本での体験」 米山奨学生 蔡 於今様

日本に来てあっという間にもう2年半が過ぎました。最初の生活は辛かったですけど、その生活もだんだん慣れて来ました。今の私はどんな困難に合っても、どんな辛いことに合っても、あきらめずに明るく頑張れるようになりました。正直に言うと留学の生活は本当に大変です。今は、米山奨学生になって本当に助かりますが、自分のことにちゃんと責任を持たなければならないと思います。



蔡 於今様

日本で見たこと、聞いたこと、感じたこといろんな体験から得られた知識は社会に適應するためのいい経験になりました。それで、ここで日本での生活体験を話したいと思います。

まずは、サービスについて話をします。サービスの心、それは中国では忘れかけていたことかもしれません。日本に来ては、この大切なそして心からの思いを顧みることができました。日本に来てすぐアルバイト先が見つかり、大切な友達もでき、学校、アルバイトなど新しい生活に夢中でした。アルバイト先はスーパーでのレジの仕事でした。オリエンテーションで挨拶の仕方や身だしなみ、「ありがとうございました」のお辞儀の仕方、笑顔の仕方まで教育を受けました。その時、なんでこんなに笑顔を作ってまでお客様に挨拶をしなければならないのだろう、何でこんなにお辞儀をしなければならないのだろうと感じていました。アルバイトが始まり、いつの間にかその笑顔とお辞儀も形式的なものになり、その繰り返しが続いていました。今年の正月に中国に帰りましたが、中国のスーパーでは、売る方の笑顔を見るのが少ないです。買い物をして不愉快な気分でありました。中国にいる時には、ぜんぜんそれに気付いたことなかったですが、今は笑顔の大事さを実感することができました。

また、この何日前のことです。用事で友達と一緒に電車に乗ることになりました。改札口を通り、電車が到着する直前の時です。新幹線の乗車券を無くしたことに友達が気づいたのです。私たちにとっては高い切符でした。私たちは来た道に沿って探しましたが、切符は見つかりません。仕方がないので、諦めながら、駅員に事情を説明することにしました。普通でしたら、中国では断られるのが当然でしたが、駅員さんはとてもやさしく、「電車が着いているので、とりあえず乗ってください」と言いました。私たちはだめだと思い、急いで電車に乗り込みました。発車して大体何分後のことです。切符の落とし物の連絡が入ったというアナウンスが流れました。それは

友達の切符でした。私たちはびっくりしました。日本の技術の発達はすごいものですが、それよりも駅員さんがここまでして探して、そして連絡してくれるとは思いませんでした。その時どう感謝したらいいか言葉にできませんでした。

この出来事があったて自分を思い返すことができました。今までマニュアル通りやってきた自分がとても恥ずかしく思いました。サービスとは聞きなれた言葉ですが、この出来事でサービスの本当の意味がわかったような気がします。相手の気持ちを理解し、相手の身になって一緒に考える精神です。今度の経験を吸収し、マニュアル人間ではなく、心からもてなすことができる、誇りの持てる人間になりたいと思います。

日本に来て私は、日本は世界で自慢できる電気製品、発達した新幹線、大量の法律及び社会規則などがあるばかりでなく、自覚的に社会道徳を守る人たちがいることが分かりました。日本は、戦後数十年間、国の発展とともに現代化社会にふさわしい国民を育てたのだと思います。日本の町はほとんどきれいですが、これは一人一人が公共衛生に気を使うからです。人々の理解と支持があってこそ、ゴミは細かく分別され、リサイクルが進み、ゴミも資源化されるのであります。このように、人々の正直さと自覚があってこそ、スーパーも入口でかばんなどを預かることなく中に入れるのであります。通信販売も電話上のオーダーもお互いに信頼があるからこそ実現できます。勿論、これは社会を全体的に見ただけで、ごく少数の悪い人がいるのも確かであります。秩序が、より高い効率の社会発展をもたらすのではないかと思います。

また、現在、日本で生活していて、私のふるさと中国を客観的に見るできるようになりました。今、強く感じることは中国の国家体制、社会制度、文化など国のことであります。日本に来て日本の生活の豊かさと便利さを実感しました。特に、コンビニの存在、宅配便の存在、流通機構のスムーズさは人びとの暮らしに大きな便利さを与えています。これはもちろん、日本政府の大量投資のおかげだと思います。中国もコンビニ、宅急便とかがあってもまだまだその利用が不便であることが現実です。政府がどうかして、日本のように便利な生活ができればいいなあと思います。日本は物質的なものばかりではなくて、日本人の精神性も強いと思いました。日本人の"頑張る"という精神はだれにも負けないです。一般的な中国人は料理店とかご飯を食べる時、いつもお酒を飲みながら、ゆっくり食べます。日本人は簡単に昼食を済ませます。このように日本人は昼ご飯も短くする程、勤勉だと思います。言うまでもなく、日本人もいろいろな社会問題を抱えています。例えば、新聞によると、平成10年の不登校の学生は10万人に達しました。その上、不登校の先生もいるそうです。もちろん、どんな社会でも、自国の社会問題がありそうです。しかし、若者として特に来日留学生として、日本の暗い面ばかりを見ないで、先進的な技術を勉強すると同時に日本人の"頑張る"という精神を身につけるのが一番大事だと思います。

最後は、日本の生活体験とは言えないが中国と日本の友好関係について話したいです。中国と日本は一衣帯水の友好的な隣国であり、両国は二千年あまりにわたって友好往来をする中で、深い友情が結ばれました。しかし、十九世紀の末から二十世紀の半ば頃の半世紀は、みんなが知っているように、両国の友好関係はバランスを崩してしまいました。この期間の歴史をくりかえさないために、その友好関係を長く続けるために、若者はいろんなことをしなければなりません。中国と日本の若者に歴史を正しく認識させなければなりませんし、両国の若者の力で経済交流と文化交流を促進させることが重要であります。中国と日本はどちらも長い文化歴史を持っていて、同文同種と言われています。昔、日本は中国を先生とし、中国の文化を取り入れました。今は、中国は日本を先生とし、日本文化の粋を習うべきだと思います。中日両国の交流は、源が遠く流れが長いです。ここ数年来、両国の友好関係は着実に発展しました。中日友好関係は必ず新しい時期に入り、両国の未来は必ず明るいと思っておりますので、ほんの少しでも力を尽くしたいです。

次回例会案内 平成17年10月26日（水）

卓話 「私の履歴書」 会員 長田和徳君